



会長	山田 正
幹事	武川 毅
会報	村上 武彦 高田 次雄 森田 峯男
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2719回例会 2019.11.28 No.21

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・山田正会長 二階堂恭子会員のスピーチを楽しみに期待致します。
- ・二階堂恭子会員 本日のスピーチ、よろしくお願ひします。
- ・阿部泰彦会員 二階堂恭子会員のスピーチに期待して。明日(11/29)佐沼警察官友の会創立50周年記念式典を挙行します。40年間の長い間会長職を務められた布施孝之先生に深甚なる敬意を表しますと共に会員皆様のご協力に心から感謝申し上げます。
- ・布施孝之会員 二階堂恭子会員のスピーチを楽しみに。厳しい寒さが続きます。お身体を大事に。
- ・飯塚仁哉会員 二階堂恭子会員のスピーチ、楽しみにしていますよ。
- ・佐藤幸一会員 二階堂恭子会員のスピーチ、大変楽しみにしております。
- ・江川元徳会員 少々早いですが、皆さんに来年(2020年)は良い年でありますように!
- ・八谷郁夫会員 二階堂恭子会員のスピーチ、楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 二階堂恭子会員のスピーチ、大いに期待致します。
- ・高田次雄会員 寒いですね、冬じたくの準備出来ましたか。ご自愛下さい。本日のスピーチ、二階堂恭子会員、勉強させて下さい。
- ・佐藤静市会員 二階堂恭子会員のスピーチ、楽しみに聞かせていただきます。
- ・菅原慶一会員 二階堂恭子会員のスピーチに期待します。

- ・武川毅幹事以下 本日のスピーチに期待して。
佐々木崇会員 千葉吉男会員 氏家良典会員
佐竹孝行会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員
岩瀬正彦会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
布施孝尚会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員
及川昭宏会員 岩瀬栄市会員 佐藤早智子会員
伊藤幸子会員 關孝会員 後藤和人会員
及川長五郎会員
以上、ありがとうございます。

会長要件 山田正会長

本日は「ロータリーの友」11月号、「国連でロータリーデーの開催」を紹介させていただきます。
1945年、サンフランシスコ会議で第二次世界大戦時、国際ロータリーは「世界平和を守る」国連設立の重要性を説く書物を数多く発刊し、国連の理念を世界中に伝える重要な役割を担いました。国連憲章起草期には国際ロータリーは国連の諮問役としてサンフランシスコに招かれる等、永年に渡る関係が、国連ロータリー創設へと繋がりました。

2020年6月は国連憲章調印式75周年に当たり、例年以上に重みが有る年とされ、この様な国際ロータリーの歴史は、会員意識の向上にも繋がり、「ロータリーの友」の情報の重要性を認識せずにはおられません。私自身、会長要件の為に読み始めた「ロータリーの友」でしたが、大田さんから「鈴木彦太会員は、ロータリーの友は全会員が読むべき」と述べていたという言葉、今更ながら思い起こします。

幹事報告 武川毅幹事

- ・盛岡西北RCより
創立30周年記念式典・祝賀会の案内
日時 令和2年2月23日(日)
式典 15:00~ 祝賀会 17:00~

- 会場 ホテルメトロポリタン盛岡
- 登録料 10,000円
- ・古川東RCより、創立40周年記念のDVDが届く
- ・川崎大師RCより 会報が届く
- ・臨時理事会を例会終了後に開催します

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会 (布施孝尚副委員長)
高田次雄会員より、使用済切手収集に対し、たくさんのご協力いただきました。

今週のスピーチ

「マルニ食品(株)について」 二階堂恭子会員
マルニ食品は、明治18年に初代二階堂文左衛門が自分で麺を作って、それを麺茶屋としてそこで食べてもらうことからスタートしました。二代目になり、乾麺を製造し戦前戦後の食糧難の時に、持ち込みの小麦粉をうどんにして、箱詰にして出荷するといった様にとっても苦労をしたようです。乾麺一筋でずっとやってきました。三代目二階堂茂は戦争に行きなかなか帰ってきませんでした。妻や二代目は、茂が帰って来るまで留守を守り、頑張って乾麺を作っていました。やっと帰って来た茂は仕事を手伝いながら「今からは、もっと美味しく簡単に食べられる麺を作りたい」と言うことで、ゆでうどんを作り「玉うどん」としてタレを添付して販売しました。このゆで麺がヒットし方々から注文が入るようになり、自動車のない頃でしたので、自転車の前後に積んで登米まで配達しておりました。その後は250ccのオートバイを買い、志津川や米川、米谷等々配達するようになりました。時代が過ぎ50台位の車を配備し、各方面に廻りました。四代目の二階堂學は、三代目と一緒に仕事をし、中江に工場を建て麺づくりをしておりました。「やっぱり美味しい麺が作りたい」と、長年培った麺づくりの技術と独自の商品開発に力を注ぎました。敷地も狭くなり平成16年に南方に新工場を建て4月に稼働し、現在にいたっております。現在は、二階堂玲子が五代目として頑張っております。

経営理念は、北の風土から「人材づくり」を重視する、「感動づくり」を創造する、「地域づくり」を目指すです。ビジョンは「日本の麺文化を磨き上げ、世界に喜ばれ誇れるものに」、ミッションは「百年先の子供たちにも食べてもらえる商品づくり」です。「人材づくり」を重視する。

「ありがとう！」をいただく人づくり。お客様からありがとう、仲間からありがとう、家族からありがとう、地域からありがとう。

私たちは、「絆」を深めることを大切に考え、誰かに必要とされる人材を育成し、全員で社会に貢献していくことを目指しております。

「感動づくり」を創造する。
私たちの使命は、「おいしさ」を通じて幸せを提供し、その中で感動をつくりあげていくことです。感動を与えるのは「商品」と「人」と考えておりますので、

人々に喜んでいただける商品の開発提供と、心のこもったサービスを行うことを心掛け、新しい・明るい・生き生きした「感動一杯の職場づくり」を目指しております。

「地域づくり」を目指す
宮城北部にある登米地域は、のどかな田園地帯で、春には田に植えられた苗が風にそよぎ、夏には蛙が歌い、蛍が舞い、秋にはイナゴやトンボが飛び交い、冬の伊豆沼では水鳥が羽をやすめるというように、四季折々の姿を見せる自然豊かな風景が広がります。私たちは、この様に恵まれた豊かな大地、風土を活かし、自然との共生を考え百有余年。これまでも、これからも、地域と共によりよい未来を目指して頑張ります。
・たくさん「ありがとう」を仲間とともに創造
・自由闊達な社風づくり
部署の垣根を越えたコミュニケーションで、様々なプロジェクト活動を進めております。新商品開発や採用もプロジェクト制で柔軟に行い、自分達の知識を高め多くの仲間たちが忌憚なく意見を出し合い、よりよい活動にチャレンジしています。社員は日本人、ベトナム人、インドネシア人、ミャンマー人等いますが、皆んなが1つのチームとして、和気あいあいと仕事をしています。

・新しいことへの挑戦
「今、何が必要か」「今やるべきことは何か」。社員の自由な発想を大切に、社員が社内外で様々な新しい企画や活動を行っています。目的に向かって物事を創り上げる楽しさを感じられる、自分達の知識を活かした活動を、互いに認め合う環境を目指しています。
・地域貢献

長きに亘り、私達を育ててくれた地域、登米への恩と東北の自然、食を広める活動として「日本一はっとフェスティバル」「東北風土マラソン」などのイベントに積極的に参加し、地域の食文化を国内外に発信しています。

安全安心への取り組みとして、当社の製品は、みやぎ食品衛生自主管理認証制度(みやぎHACCP)の認証を受けた工場で製造しています。全社での安全への取り組みと、品質保証部による厳しい管理により高い品質が守られています。原材料仕入れの段階から厳しい検査が行われ、日々商品と工場の衛生管理、微生物などの検査、温度管理や工程のチェックが厳しく行われています。又、工場の職場環境改善にも取り組んでいます。新しい技術を取り入れ、生産を進化させていく、作業負担の軽減のため機械化の推進、高齢者等の積極的雇用、働きやすさを考えた個別労働管理など。

マルニ食品の基幹事業は、長年培った麺づくりの技術と独自の商品開発力をベースに量産品から小ロットのOEMまで、お客様それぞれのニーズに合わせた麺作りですが、宮城・登米の豊かな食材を生かした商品「はっと」「お菓子」など開発し地域の皆さまに地域の食材の良さをお届けしています。

これからも、より美味しく、より安全な商品開発に取り組んで参ります。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。